

第2回

開催日 平成22年1月22日(金)

15:00~17:00

開催場所 JST研究開発戦略センター 大会議室

議事次第

1. 契約書類精査
2. まとめ

各委員が選定した契約を、各委員が個別に1件1件精査した。その結果を持ち寄りまとめとして以下の意見をいただいた。

- 随意契約や複数年契約については特に問題はない。
- 1者応札について、予定価格を作る際に見積もりをとる場合、1者しかないのならその見積価格が社会的に正当性をもっていなければならない。
- 予定価格についてはJST自身がきちんと説明できるようにするべきだ。
- 契約内容の説明を受けると落札率が高いのはうなずけるが、第三者から見た場合落札率が100%や99%のものが多い。今後は落札率が問題とされるのではないか。
- 研究機器などは1者応札が多い。もともと1者しか無いものは随意契約にすべきだ。随意契約の件数を減らすために一般競争入札とするのは事務経費の大いなる無駄である。
- どのような場合に随意契約とするのかを明確にし、随意契約と一般競争入札のメリハリをつけるべきだ。
- 公募随契(参加者確認公募)を増やしてはどうか。